

## 京都教育懇話会設立趣意書

世界は今、大きな転換期を迎えています。教育の世界も、少子高齢化社会やIT、グローバル化時代などの到来で、大胆な変革を余儀なく求められています。学校内で授業が完結する時代は去り、教育界と社会が相互に連携し、社会総ぐるみによる取り組みが一段と求められるようになりました。京都は明治2年に市民が学区制発布に先駆け小学校（番組小学校64校）をつくった伝統があり、公立私立を問わず、地域と連携したコミュニティー・スクールやキャリア教育などで多くの成果を上げ、注目を集めています。

2007年5月、京都21世紀教育創造フォーラム実行委員会は、新たな次世代教育像を探るため全国から英知を集め、「京都21世紀教育創造フォーラム」を開催しました。このフォーラムの意義は、京都の産学公とメディアで組織する本実行委員会が、次代を担う子ども達の教育と向き合い「大人社会は今何ができるか」をテーマに「京都からの提言」の形で問題提起を行い、併せて京都の先進的な取り組みを全国へ発信することを通じて、次世代教育への関心を高めるミッションを達成できたことでした。

また、本フォーラムを通して教育界、産業界、行政及びメディア等の強固なネットワークが形成されました。私達はこれを一過性のものとはせず、次世代の教育、人材育成のあり方に関し、関係者が継続的にスクラムの輪を広げていくことの重要性を確信するに至りました。

そこで、本実行委員会は、フォーラム事業の一環として「京都教育懇話会」の設立を決めました。懇話会は企業の業態や小・中・高校、大学の違い、公立と私立、学校と塾などの教育産業、教職員と学生・院生さらには地域の違いなどを越え、ともに交流し、学び、研鑽し、そして情報発信する「場」づくりを目指します。次なる世代の育成、人づくりを合言葉に、様々な分野のリーダーが定期的集うこの種の懇話会は例がありません。経験のない新しい試みだけに、どのような化学反応が起こるかはなお未知数ですが、志の旗高く邁進し、より一層多くの方々のご支援、ご協力を賜りたいと存じます。

本懇話会は「勉強会」を年5回程度開催し、その成果を次回以降の「京都21世紀教育創造フォーラム」に反映していきたいと考えています。

教育とは「未来の創造」です。私達は未来に対し謙虚に真摯であると同時に、日本の近代学校教育発祥の地 京都から新たな次世代教育モデルの創造に向け、広く内外から英知を集め、連帯の輪を広げて参る所存です。

2008年5月吉日

京都21世紀教育創造フォーラム実行委員会  
実行委員長 堀場 厚